

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	チーム協働と課題解決 (Team Collaboration for Resolution)		
ナンバリングコード	S30118	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 応用レベル / コース共通
単位数	1	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	必修: 診療放射線学コース、臨床検査学コース、臨床医工学コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S001851	クラス名	-
担当教員名	北村 茂三、村中 博幸、衛藤 路弘、西村 まどか、政元 いずみ		
履修上の注意、履修条件	診療放射線学コース、臨床検査学コース、臨床医工学コースの学生は必ず履修すること。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	特になし		
関連科目	チーム医療概論		

○基本情報		
授業の目的	①3つの専門職の業務内容や役割について説明できる。 ②専門分野を超えたチーム協働のあり方について説明できる。 ③コミュニケーションの方法(質問力、コメント力)を身に付ける。 ④課題解決におけるプレゼンテーション力を身に付ける。	
授業の概要	保健医療学部で養成する3コースの学生が将来の医療者としての共通の視点にたって、医療と対象者に関する新たな課題発見と解決のためのチーム協働について理解する。各コースの学生がチーム医療概論など、3年次までの各専門職教育のカリキュラムの履修を踏まえて、医療現場における各分野の職種の活動について理解する。また本科目において、それぞれの専門職の役割や職業上の問題意識を学び、協働して問題解決の方法を考え、新たな役割や課題などについてプレゼンテーションを行う。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	臨床経験を有する診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士が担当する。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】	①生命に対する尊厳と人権を尊重し、豊かな人間性を備え、人間相互の理解のもとに、倫理観に基づいた責任ある行動ができる。		20点	
【ディプロマ・ポリシー2】	②医療産業人としての幅広い教養を身に付け、医療現場や様々な関連職域において、医療技術の知識と技能を活用することができる。		15点	
【ディプロマ・ポリシー3】	③他者を思いやり、相手の立場に立った共感力を身に付け、チームの中で協調して行動し、チーム医療実践のための問題解決力、多職種とのコミュニケーション力やプレゼンテーション能力を身に付けている。			50点
【ディプロマ・ポリシー4】	④複合的な視点から課題を解決できる力と医療の高度化、情報化に対応できる力を身に付けている。		15点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
【成績評価・単位認定】 成績評価は以下の各項目の内容について総合的に評価を行い、その評価の合計点に応じてA、B、C、Eで評価する。このうち、A、B、C評価の場合を合格とし単位認定を行う。またE評価の場合は不合格とする。 授業で行ったプレゼンテーション資料とプレゼン内容(50点)、レポート(50点)によって評価する。	

○その他	
課題として提示するシナリオに準じて、医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士等の役割を通してチーム医療について学習する。 「学習内容(目的)」 1.チーム医療における多職種連携の重要性を理解する。 2.各職種の役割を理解し、患者中心の医療を実践するための課題解決能力を育成する。 「解決課題へ向けての視点」 1.多職種間の情報共有 o患者受け入れから診断・搬送まで、どのタイミングでどの情報を共有すべきか。 o情報漏れが発生した場合の影響を考える。 2.各職種の役割分担 oそれぞれの職種が担う業務を整理し、役割を明確にする。 o必要なタイミングで他職種に依頼すべき内容を検討する。 3.課題解決シミュレーション o突発的な問題(例: 画像解析の遅延、酸素療法装置のトラブルなど)を想定し、どのように対応するかチームで話し合う。 o解決策を検討し、発表する。 4.患者中心の医療の視点 o患者の背景(既往歴)を考慮した上で、どのようにケアプランを立てるか。	

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	チーム協働と課題解決 (Team Collaboration for Resolution)		授業コード	S001851
	担当教員	北村 茂三、村中 博幸、衛藤 路弘、西村 まどか、政元 いずみ			
学修内容					
1. オリエンテーション					
オリエンテーション: 講義の進め方、3コースの学生が混在したチームを編成 (10人編成 14チーム)。					
予習	授業の内容について調べる。				約2時間
復習	授業内容について整理する。				約2時間
2. 診療放射線技師の役割					
診療放射線技師の役割の現状と将来。					
予習	事前の配布資料を読んで質問を用意する。				約2時間
復習	診療放射線技師の役割についての整理する。				約2時間
3. 臨床検査技師の役割					
臨床検査技師の役割の現状と将来。					
予習	事前の配布資料を読んで質問を用意する。				約2時間
復習	臨床検査技師の役割についての整理する。				約2時間
4. 臨床工学技士の役割					
臨床工学技士の役割の現状と将来。					
予習	事前の配布資料を読んで質問を用意する。				約2時間
復習	臨床工学技士の役割についての整理する。				約2時間
5. プレゼンテーションの準備					
グループワーク: 各職種のチーム医療へのかかわり方について調査、討論する。					
予習	プレゼンテーションする課題の検討。				約2時間
復習	チーム協働についてまとめ、プレゼンテーションの準備。				約2時間
6. プレゼンテーションの準備					
グループワーク: チーム協働に関する課題を整理し、プレゼンテーションの準備をする。					
予習	プレゼンテーションする課題の検討。				約2時間
復習	チーム協働についてまとめ、プレゼンテーションの準備。				約2時間
7. 3コースの教員が出席したプレゼンテーションの実施					
3コースの教員が出席したプレゼンテーションの実施: 質問とコメント。7グループによるプレゼンテーションを実施。					
予習	課題に対するプレゼンテーションの準備。				約2時間
復習	授業のまとめと実施したプレゼンテーションの反省。				約2時間
8. 3コースの教員が出席したプレゼンテーションの実施					
3コースの教員が出席したプレゼンテーションの実施: 質問とコメント。7グループによるプレゼンテーションを実施。					
予習	課題に対するプレゼンテーションの準備。				約2時間
復習	授業のまとめと実施したプレゼンテーションの反省。				約2時間

○授業計画	科 目 名	チーム協働と課題解決 (Team Collaboration for Resolution)	授業コード	S001851
	担当教員	北村 茂三、村中 博幸、衛藤 路弘、西村 まどか、政元 いずみ		
学修内容				
9.				
予習				
復習				
10.				
予習				
復習				
11.				
予習				
復習				
12.				
予習				
復習				
13.				
予習				
復習				
14.				
予習				
復習				
15.				
予習				
復習				
16.				
予習				
復習				